

高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して、元気に、暮らし続けるために

一緒に考えてみませんか？ 自分らしい最期の迎え方

1月26日(土)に中央公民館で「いのちを考える」と題した講演と、在宅医療・介護から“看取り”までの、自己決定を支える支援の啓発劇の構成で、市民公開講座を行いました。

佐賀市円光寺五十嵐雄道住職による講演「いのちを考える」

講演会で実施したアンケートから参加者の声を紹介します。



▲五十嵐雄道 住職

私として
生まれてよかったと
思える人生を
過ごしたいと思う
(50代・
医療関係者)

生と死は
違うか否かを
考えるきっかけを
与えられた
(70代、市民)

生きたいという
思いも死にたい
という思いも個々の
意見を尊重したい
(70代、市民)

自分の
最期は自宅で
というのは誰もが
望むところ
(70代、市民)

残されている
日々を楽しく
大切に生きることを
感じました
(80歳以上
・市民)

明日の「元気」を、今「地域と一緒に」につくる

中小路

大野

別府
三区

相の浦

集いの場・いきいき百歳体操に取り組んでいる地区を毎月紹介します。

東多久合同地区



次号は東多久町納所地区の取り組みを紹介します！

グループの名称：サンサンサークル東多久
開始時期：平成29年8月2日～
実施日：毎週水曜日 10時～
コメント：住み慣れた土地で元気に過ごしたいという思いで、和気あいあいとした雰囲気の中、1時間程度東多久公民館で行っています。この教室は、東多久古賀地区のメンバーで開き、今では、他の地区の人にも広がり、毎回、いろいろな地区の人で賑わっています。いきいき百歳体操とかみかみ体操で、元気を勝ち取るぞ！
代表者：渡邊 静子

砂原

東多久
合同

納所